

大分県下専門職能団体

(拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開

大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 野上 美智子



1.大分県協会の現況

正会員数 207名(H23年3月31日時点) 賛助会員 団体8

<組織> 執行部 会長 副会長 常任理事 理事 計15名

平成23年： 理事会 年8回 (全国大会のため8月より3月)

<研修部>

○初任者研修会 (ネットワーク推進部との共催)

対象：1年～3年目までのMSW

開催日：10/1 (竹田医師会立病院) 10/29 (済生会日田病院)

内容：『ソーシャルワークの価値・倫理』『ソーシャルワーク実践と組織』 交流会

参加人数：68名

○スーパーバイザー養成研修

対象：5年目以上のMSW

開催日：平成23年12月3日～平成24年2月4日 内4日間

会場：大分県ニューライフプラザ

内容：『実習のプロセスⅠ』『実習のプロセスⅡ』実習プログラミングシート作業班
『価値、倫理』『原理、原則』『組織、連携』『病院にSWがいる意味』
『面接技法』『スーパービジョン』『実践報告会』

参加人数：5名 前年度までの補講者(1名) フォローアップ研修者(9名)

○ステップアップ研修

対象：3年目～10年目までのMSW

開催日：平成24年2月19日 会場：別府ビーコンプラザ

内容：ソーシャルワーク実務に関する講義(演習含む) 参加人数：29名

○三団体合同研修

(大分県精神保健福祉士会・大分県社会福祉士会・大分県医療ソーシャルワーカー協会)

対象：全会員

開催日：平成24年3月18日

会場：別府ビーコンプラザ

内容：特別講演『専門職がもつべき価値』 事例検討『公開スーパービジョン』
特別報告『認定・専門社会福祉士について』『医療・介護報酬同時改訂について』

参加人数：109名

<学術部>

地域包括ケアシステム構築を鑑み、患者支援に関する情報交換の為の地域連携シート作成。
SWは何を繋いでいくのかを研究した。クライアントの生活像が把握出来る程度の最小限のADL
に加え、“連携”において「SW支援を繋ぐ」ための項目を重要視するシートを完成。
会員が使用できる体制を作った。

<ネットワーク推進部>

- MSW 配置・意識調査アンケートを実施：県内各圏域の MSW 配置調査・会員・非会員把握
- ブロック研修：竹田市・日田市での研修部との共催で初任者研修
- 渉外：保健医療団体協議会・大分県地域リハビリテーション研究会・大分難病研究会・大分県地域生活定着支援事業運営協議会・リレーフォーライフ大分等、関係団体や患者団体との連携をより強化することができた。
- メーリングリスト：登録者数 146 件と増加。

<広報部>

広報活動を通じ、大分県医療ソーシャルワーカー協会の取り組みを会員はもとより、各種団体や個人に広く知っていただくことを目的とする。

- ホームページ更新
- 広報誌「かはら版」発行（年 4 回）

<本年度独自の取り組み>

- 特命班 診療報酬・介護報酬同時改定制度分析事業のためのワーキングチーム結成
- 「ふくしまっ子」応援プロジェクト実行委員会の参加と活動支援

<学会発表>

地域リハに関する他職種との協働の発表は各学会で会員が行っている。

2. 地域リハビリテーション関係動向抜粋

- 8/9 第 1 回大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会 医師会館
- 10/3 大分県地域リハビリテーション研究会 井野辺病院
- 10/22 大分県栄養士会生涯教育研修会 大分市商工会議所
- 10/22 大分県地域リハビリテーションケア研究会懇親会 オアシスタワー
- 10/23 大分県地域リハビリテーションケア研究会 別府ビーコンプラザ
- 11/2 訪問看護認定看護師教育課程(講師) 研究交流センター
- 12/11 大分県保健医療団体協議会 げんきフェアー 豊の国健康ランド
- 1/28 第 4 回福祉社会科学講座シンポジスト 大分大学
- 2/3 看護協会教育研修講師 大分県看護研修会館
- 2/25 第 9 回大分県放射線管理研究講演 大分記念病院
- 3/2 大分県高次脳機能障がい相談支援連携調整委員会
- 3/7 中部圏域地域リハビリテーション広域支援センター会議 大分岡病院
- 3/12 地域リハビリテーション研究会役員会 井野辺病院
- 3/18 第 2 回地域包括ケアシステム研修会 湯布院厚生年金病院

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステムにおいて、人と社会(環境・社会資源など)を見る視点とコーディネート力はソーシャルワーカーの専門とするところである。24 年度は病院内のチームのみならず地域を巻き込んだ展開をしていくために、リーダーとなるべき力強い MSW を育成することが当協会の目標です。

(公社) 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



1、会の現状

平成 24 年 4 月 1 日付をもって公益社団法人に移行

会員数 784 名

7 協議会 (医療・学校健康教育・公衆衛生・教育研究・勤労者支援・地域活動・福祉)

7 支 部 大分 (由布)・別府・東部 (日出・国東)・北部 (宇佐・中津・豊後高田)
豊肥 (竹田・豊後大野) 南部 (佐伯・臼杵) 西部 (日田・玖珠)

2、地域リハ関連の活動・取り組み

(1) 研修会 (後援・協力)

- ① 第 8 回大分県リハビリテーション支援センター
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ② 第 4 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会・交流会
- ③ 第 20 回中部圏域大分地域リハビリテーション研究会
- ④ 第 2 回地域包括ケアシステム研修会「システム構築に向けた私たちの活動」

(2) 主催

- ① 生涯学習研修会
- ② 大分県栄養士会調理研修会 (栄養士・調理担当者)
- ③ 大分県栄養士会新人研修会
- ④ 第 11 回大分県栄養士学会
- ⑤ スポーツ栄養研究会
- ⑥ ヘルパー調理講習会
- ⑦ げんきっ子チャレンジクッキング
- ⑧ 男性料理教室

(3) 共催

- ・ おおいた食のリハビリテーション研究会
(大分県栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)
第 9 回研究・交流会 研究報告会
第 10 回研究・交流会「嚥下障害を診る上での大切なこと」
- ・ 大分県社会福祉介護研修センター
介護担当者技術研修「摂食・嚥下セミナー」講師派遣
- ・ 大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

(4) 会議出席

- ① 大分県地域リハビリテーション研究会・役委員会・拡大運営委員会
- ② 中部圏域大分地域リハビリテーション支援センター連絡協議会・実行委員会
- ③ 大分県介護予防市町村支援委員会口腔機能向上・栄養改善向上専門部会
- ④ 大分県在宅歯科診療検討部会
- ⑤ 大分県豊の国8020運動推進会議
- ⑥ 大分県保健医療団体協議会
- ⑦ 大分県糖尿病対策推進委員会

(5) 講師派遣

- ・ 大分県社会福祉介護研修センター「摂食・嚥下セミナー」
- ・ 大分県竹工芸・訓練センター介護サービス科（栄養及び調理）
- ・ 大分県調理師試験準備講習会
- ・ 高齢者介護予防（栄養改善）
高齢者二次予防対象者、大分市通所型介護予防事業、臼杵市特定高齢者介護予防事業
- ・ 大分市生活習慣病予防講演会
- ・ 男女共同参画市民講座（子育てパパ、ママ対象）
- ・ 大分市ボランティア連絡協議会（調理実習～減塩食）
- ・ 大分県赤十字血液センター健康相談事業
- ・ 大分県介護社会福祉研修センター会議入門教室
- ・ 食育事業
保育園・幼稚園・小学校・PTA等対象講和及び調理実習・赤ちゃん教室

3、地域リハ活動における課題、今後の展開

- ・ 医療・福祉との連携による在宅支援
在宅での栄養・食事に関して問題のある方への支援、在宅訪問栄養指導、
在宅での摂食・嚥下困難、障害のある方への対処

4、栄養ケア・ステーション事業（電話無料相談）

- 栄養相談、食生活相談、食と栄養、病態栄養及び調理等に関してよろず相談を実施している。
電話相談無料（来所も可）一般相談（水曜日 10：00～15：00）
妊婦・乳幼児相談（火・水・金 10：00～15：00）

この活動を地域に広めていくことが課題であり、各団体との連携が重要であると思います。

高齢者に対する食生活指導及び支援、慢性疾患に対する指導、支援、保育園児、幼稚園児小学生、保護者等への食育、生活習慣病の予防を踏まえた各関係団体との連携を密にして事業を展開したいと思っています。特に、疾病の重症化予防のための食事指導活動拠点整備事業を実施しますが、高い専門性を持つメディカルスタッフと連携して行うことが重要だと思っています。

公益社団法人として県民の公衆衛生に寄与することにより社会的責務を果たすことを目的に事業を展開します。

NPO 法人 大分県介護支援専門員協会

理事長 千嶋 達夫



1. 会の現状

正会員数 430名

賛助会員 法人7団体 個人2名

支部 14支部（大分、宇佐高田、中津、佐伯、竹田、国東、津久見、
豊後大野、日出、玖珠、庄内、挾間、ゆふいん、野津）

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

- ・会議出席：大分県リハビリテーション協議会役員会
大分県地域リハビリテーション研究会運営会議
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 10周年記念講演会
- ・大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会第8回合同研修会
- ・大分県地域リハビリテーションケア研究会
- ・地域包括ケアシステム研修会
- ・地域リハ調整者・協力員養成研修
協会会員より大分1名、国東2名、竹田1名、宇佐高田1名 参加

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

介護支援専門員は、リハビリテーションへの関心が薄く、今まで、地道な活動しかできていませんでしたが、平成23年度においては、大分県リハビリテーション支援センターの地域リハビリテーション調整者・地域リハビリテーション協力員養成会への介護支援専門員の派遣を行う等会員の意識を強化しました。

また、平成24年1月には「真の介護予防を考える～夢のみずうみ村に学ぶ」と題して、独創的で、質の高い地域リハビリテーション事業を展開している山口県夢のみずうみ村代表の藤原茂先生をお招きし、講演会を開催いたしました。藤原先生は作業療法士として、訓練だけにとらわれない「生活できる能力の発見」「生きていることを味わう」を理念に掲げ、リハビリテーション中心のデイサービスセンター「夢のみずうみ村」を運営されています。その実践はテレビや雑誌等でも紹介され、今、全国で注目されています。講演会には、会員だけでなく県下200名の介護職の方々が参加し、熱心に講義を聞いていました。藤原先生のリハビリテーションに対する情熱や実践報告を聞き、受講した参加者は一様に感動されていたようです。

他には、日本介護支援専門員協会の九州・沖縄ブロック研究大会 in 沖縄を当協会がブロック担当理事として主催し、「地域包括システムケアの展望」と題した研究大会を開催し、九州各県より450名が参加しました。さらに、平成24年度

は九州・沖縄ブロック研究大会を大分県にて開催する予定となっております。

平成 24 年 4 月より介護保険法の改定があり、他職種との連携を含め、介護支援専門員の真価が問われています。当協会では介護支援専門員のスキルアップを図るため、社会資源の研修、主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修等を予定しています。

特に、主任介護支援専門員においては、法的研修の最終段階に位置づけられ、5 年間の実務があれば取得できる資格であり、その後の学びの場がないことから、フォローアップ研修を開催、また、小規模な人数での事例検討、スーパービジョン勉強会を開催し、長期的な計画で地域・事業所での指導を行うことのできるスーパーバイザーを育成していく予定です。

(一社) 大分県介護福祉士会

会長 三浦 晃 史



1. 会の現状

会員数 1315 名

支部構成 8 支部 (日出、大分、由布、臼杵、佐伯、豊後大野、日田、宇佐)

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

○ 大分県介護福祉士会 研修会 …… 年 5 回

第 1 回 「介護福祉士のためのリスクマネジメント」

参加者・・・101 名

第 2 回キャリアアップ研修中央「認知症ケアを考える ～利用者本位の視線～」

参加者・・・128 名

第 3 回キャリアアップ研修県南「メンタルヘルスとセルフケアについて」

参加者・・・53 名

第 4 回キャリアアップ研修県北「介護記録を学びませんかー記録に強くなる

“つぼ”を押さえよう、介護記録の書き方・活用法ー」

参加者・・・80 名

第 5 回キャリアアップ研修会大分第 2 回 「たんの吸引」と「経管栄養」についての基礎知識」

参加者・・・184 名

再就職支援セミナー 「コミュニケーション (接遇)」

参加者・・・19 名

○ 介護技術研究会 (講師マニュアル車いす編) 8 支部 各 1 回開催

○ 支部研修会・意見交換会

テーマ: 「体操」

テーマ: 「東北地方太平洋沖地震の被災地における活動について」

テーマ: 「大災害発生」～その時わたしたち介護福祉士が担う役割～

テーマ: 「無理のない移乗・移動動作介助」について

テーマ: 「嚥下について」～介護福祉士として理解すべきこと～

テーマ: 「専門職として力を発揮するために」

テーマ: 「理想とする介護福祉士とは」等

- 出前介護教室 年6回開催 大分(3)・日出(1)・県南(佐伯1・臼杵1)
対象者:一般の大分県民
- 介護チャレンジ教室 年3回開催 対象者:大分県下の小中学生
- 子どものための福祉講座
内 容 福祉講話・介護機器説明・体の動かし方・車椅子操作
アイマスク(視覚障害者の介助)等
対象者 県下の小・中・高校生 講師派遣回数 年間10回 派遣会員数 40名
- 「出前福祉教室」・「福祉体験教室」 小学校 9校 講師派遣 10名
- 各種委員会への委員派遣

大分県地域リハビリテーション研究会
 大分県日常生活自立支援事業契約締結審査会委員
 大分県リハビリテーション事業運営委員
 大分県ボランティアネットワーク委員会
 大分県介護予防事業市町村支援委員会
 老人福祉計画策定委員会
 大分県社会福祉介護研修センター運営委員会
 大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会
 中部圏域地域リハビリテーション支援センター実行委員会
 高齢者虐待防止対策検討委員会
 介護認定審査会(国東・大分・宇佐)
 介護福祉士国家試験実地試験委員
 大分県災害ボランティアネットワーク運営委員
 大分県医療適正化推進協議会委員
 豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会委員
 大分県介護予防市町村支援委員
 福祉人材確保推進委員
 脳卒中懇話会世話人

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

24年度は当会が抱える課題として「人材の確保」「質の担保」という2点が挙げられますが、それがそのまま地域リハ活動における課題として考えられます。

県下各地に散在する介護福祉士が高い志を持ち、医療・保健・福祉の他職種との連携を継続することが、理想の地域リハ活動が実現すると強く信じています。

(公社) 大分県看護協会

会長 松原 啓子



1. 大分県看護協会の現状

※ 会員数：8,351名（平成24年3月31日現在）

- ・ 常任委員会(9)・特別委員会(8)の17委員会で事業を展開している。
- ・ 県下を9地域に分け、地域での活動を推進している

地区活動に教材提供…DVD(新人看護技術研修・医療安全・感染予防等)
ふれあい看護体験・看護の集い・研修会・出前授業

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈県民の健康づくりへの活動〉

1) げんき教室 毎月第4水曜日 14:00～15:30 於) 大分県看護研修会館

※ 協会HP・市報(大分市)・マイタウン(南大分タウン誌)で広報

	テーマ	人数		テーマ	人数
4月	笑い与健康	62	10月	脳卒中にならないために	54
5月	筋力アップで健康づくり	34	11月	インフルエンザを予防しよう	46
6月	腰と膝の痛みの予防	75	12月	心の健康	74
7月	熱中症にならないために	52	1月	お腹まわりスッキリ体操	53
8月	高齢者のためのおしっこの話	52	2月	くすりの情報最前線	59
9月	お口の健康	37	3月	ヘルスアップな食事のこつ	57

2) 大分市生活文化展での「まちの保健室」開催 5日間(10/8.9.10.15.16)

於) 城址公園 相談件数 延べ4,865件 担当スタッフ 延べ67名

※ 血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・スモーカーライザー・AED・乳がんモデル

3) 大分合同新聞社文化講演会“萌”での健康相談 4日間

於) オアシス 相談件数 延べ288件、担当者数 延べ30名

※ 血圧・体脂肪測定、健康相談

4) 「人とみどりふれあいいち」での健康相談 2日間(4/12・4/15)

於) 平和市民公園 相談件数 延べ251件

※ 血圧・体脂肪測定、健康相談

5) 「げんきフェア」 1日間(12/11)

於) 豊の国健康ランド 主催：大分県保健医療団体協議会10団体

(健康相談307件、血圧・体脂肪測定208件、血管年齢測定91件)

〈リハビリ関連の教育・研修〉 ※ 同じテーマを2回開催

	テーマ	1回目(人)	2回目(人)
1	呼吸・理学療法	67	54
2	摂食・嚥下障害患者の看護	60	49
3	リハビリテーションにおける看護師の役割	48	22
4	高齢者の転倒転落防止	50	58

5	高次脳機能障害の理解と看護	51	34
6	排泄ケア（ウロストミー・オストミー）	8	16
7	褥瘡ケア	93	63
8	エビデンスに基づいた口腔ケア	42	28
9	褥瘡対策～栄養面からのアプローチ（トピックス）	47	
10	克服！嚥下性肺炎（トピックス）	128	

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

<平成 24 年度重点事業>

- 1) 看護職の資質の向上を図るための教育・研修等に関する事業
 - ①継続教育の推進
 - ・eラーニング研修の導入
 - ・研修手帳の配布およびポイント制の導入
 - ②研究・学術活動等の推進
 - ・平成 25 年 9 月 13 日・14 日 第 44 回日本看護学会学術集会「看護総合」準備
- 2) 看護領域の開発・展開に関する事業
 - ・11 月 3 日「いいお産の日」…（高校生・大学生対象）特別講演 体験コーナー
 - ・介護職員に「たん吸引等施術者養成事業」（大分県の委託を受けて開催）
- 3) 在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業
 - ①訪問看護師養成・育成事業
 - ②訪問看護推進事業
 - ③教育機関としての訪問看護実習受入れ
 - ④訪問看護事業運営を推進

<通常事業>

保健・医療・福祉等の知識の普及に関する事業

- 1) 地域住民の健康増進・啓発活動
 - ①げんき教室：12 回/年
 - ②大分地域リハビリテーション・ケア研究大会（保健医療 16 団体）
 - ③リレーフォーライフへ参加
 - ④思春期相談事業
- 2) 看護における医療安全及び災害時の救護に関する事業
 - ① eラーニング（医療安全管理者養成研修会・感染対策の基礎）を導入
 - ②災害対策の強化
 - ・県内災害発生時の対応マニュアル作成
 - ・派遣後のフォローアップ体制の構築
 - ③「スポーツ救護ナース」養成研修会を開催…スポーツ学会と共催
- 3) 看護師等の就業促進及び進路相談事業
 - ①就労促進事業
 - ・大分合同新聞社と共催で求人・求職合同就職相談会(7 月)
 - ②看護学生インターンシップ事業（県補助）
 - ③カムバックナース支援事業（県委託）
 - ・潜在看護師等 1 日職場体験
 - ④潜在看護師等技術研修（県委託）

(一社) 大分県言語聴覚士協会

会長 平岡 賢



1. 会の現状

- 1) 会員数及び施設数(平成24年5月17日現在)
会員数：236名 ※約7割が大分、別府に集中している
施設数：80施設
- 2) 構成：
事務局（総務部、事業部、財務部）
社会局（広報部、地域連携部）
学術局（学術研究部、教育研修部）
委員会（小児言語委員会、訪問リハ・通所リハ委員会）
特別委員会（災害時対策特別委員会、言語聴覚の日特別委員会）

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
 - ①第9回総会・なし会春の行事
日時：平成23年4月3日（日）
場所：大分西部公民館
参加者：22名
内容：なし会総会、花見
 - ②なし会忘年会
日時：平成23年12月4日（日）
場所：カラオケ・シダックス（別府）
参加者：27名
内容：レクリエーション・交流会・食事会
 - ③各ブロック会の開催及び参加
回数：1～2ヵ月に1回程度（各ブロック会にて決定）
内容：会員間及び家族間の情報交換、食事会
- 2) 第5回言語聴覚の日
目的：言語聴覚士の周知
方法：JR車両内への県士会ポスターの掲示
期間：中吊広告8月31日（水）～9月5日（月）日豊線・豊肥線・久大線
戸袋広告9月1日（木）～9月30日（金）日豊線
- 3) 大分県地域リハビリテーション関連
 - ①大分県地域リハビリテーション研究会 10周年記念講演会
日時：平成23年6月18日（土）
場所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
 - ②第8回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会への協力
日時：平成23年7月10日（日）
場所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
 - ③第4回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会への協力
日時：平成23年10月23日（火）
場所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
発表：口述発表3題

④交流会への出席

第4回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会・交流会

日 時：平成23年10月22日（月）

場 所：大分全日空ホテル オアシスタワー 紅梅の間

4) おおいた食のリハビリテーション研究会

(社)大分県栄養士会、(一社)大分県歯科衛生士会、(一社)大分県介護福祉士会、

(一社)大分県言語聴覚士協会

①第9回研修会

日 時：平成23年8月21日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：93名

内 容：おおいた食のリハビリテーション研究会 総会

研究報告会（演題数13）

②第10回研修会

日 時：平成23年3月4日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：177名

内 容：「嚥下障害を診る上で大切なこと」 講師 山部歯科医院 院長 山部一実先生

研修・交流会（体験、相談コーナー）

③第5回摂食・嚥下セミナー

7月～10月まで（1週間のコース）

5) 派遣事業

①中津市「5歳児発達相談会」

日 程：平成23年6月2日（木）、9月2日（金）、12月2日（金）、平成24年3月2日（金）

時 間：13：00～

場 所：中津市三光福祉保健センター

対 象：5歳児

内 容：言葉の発達や発音、吃音の関わる相談

派 遣：言語聴覚士4名

②宇佐市「5歳児すこやか発達相談会」

日 程：平成24年2月16日（木）、17日（金）、23日（木）、24日（金）

時 間：13：00～17：00

場 所：宇佐市勤労者総合福祉センター（さんさん館）

対 象：5歳児

内 容：言葉の発達や吃音に関わる相談

派 遣：言語聴覚士4名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

現在の課題としては、マンパワー不足と各圏域の言語聴覚士数の格差が挙げられる。全国も平成24年度の実数がようやく2万人を超え、大分県は約250人が実務していると思われ、毎年20～30人程度しか増えていないのが現状である。

今後の展開として、言語障害友の会「なしかい」や高次脳機能障害家族会への協力・側方支援、およびボランティア活動として、地域でのコミュニケーションパートナーの支援・育成、啓発などの活動を推進していく。また、今後も他職能団体と連携を保ち、研修会や医療福祉推進事業など合同開催を行っていききたい。さらに、当会でも今年度より、災害時対策特別委員会の発足、新人教育研修を開催し、これまで以上に充実した会の運営を行っていく。

最後に今年は、「言語聴覚の日 全国大会」が10月28日（日曜日）に大分県で開催予定である。この会は、啓蒙活動を中心とした会であり、多くの方に言語聴覚士だけでなく、他の医療福祉の職との連携についても紹介したいと考えている。

(公社) 大分県作業療法協会

会長 高森 聖人



1. 会の現状

圏 域	支 部 名	会 員 数	施 設 数
中 部 圏 域	大 分 支 部	3 3 1	7 0
	臼 津 支 部	2 1	5
東 部 圏 域	別 杵 速 見 支 部	9 1	2 9
	国 東 支 部	1 1	6
北 部 圏 域	中 津 支 部	3 1	1 4
	宇 佐 高 田 支 部	4 4	1 1
西 部 圏 域	日 田 玖 珠 支 部	2 6	1 1
豊 肥 圏 域	大 野 支 部	3 0	9
	竹 田 支 部	2 4	6
南 部 圏 域	佐 伯 支 部	3 8	1 2
計		6 4 7	1 7 3

(平成 23 年 12 月 1 日現在)

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) 作業療法一日体験

日 時：平成 23 年 7 月～ 8 月
場 所：会員所属施設 (44 施設)
参 加 者：県内高校生 83 名
内 容：作業療法見学、体験など

2) 作業療法フェスタ 2011

日 時：平成 23 年 8 月 21 日 (日) 10:00～16:00
場 所：イオン パークプレイス大分店
参 加 者：約 500 名
内 容：こども作業療法体験、絵てがみ作成、高齢者・障害者疑似体験
福祉用具体験・展示、リハビリテーション・認知症相談

3) 「リレー・フォー・ライフ大分 2011」参加

日 時：平成 23 年 9 月 23 日 (金) 13:00～ 24 日 (土) 13:00
場 所：大分スポーツ公園大芝生広場
大会規模：延べ参加者約 5,500 名
参 加 者：83 名 (会員 49 名、家族等 34 名)

4) 「作業療法の日」公開講座

テ ー マ：「作業療法士が伝授！！認知症の予防方法」
日 時：平成 23 年 9 月 25 日 (日) 10:15～15:30
場 所：大分県作業療法協会ビル
内 容：作業療法 (士) の紹介、認知症の予防方法について

5) 「センターまつり 2011」作業療法コーナー設置

日 時：平成 23 年 11 月 6 日 (日) 10:00～16:00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター
内 容：リハビリテーション・認知症相談、作業活動体験等

- 6) 「春日まつり」作業療法コーナー設置
日 時：平成 23 年 11 月 13 日（日）10:00～14:00
場 所：大分市立春日町小学校
内 容：フラッグ作成（作業活動体験）、リハビリテーション・認知症相談
体 験 者：約 140 名
- 7) 「第 12 回大分県保健医療団体協議会げんきフェア」作業療法コーナー設置
日 時：平成 23 年 12 月 11 日（日）11:30～15:30
場 所：豊の国健康ランド
内 容：「クリスマスカード」作成体験、リハビリテーション相談
体 験 者：約 100 名
- 8) 広報誌「伝 DEN」の発行
発 行 月：平成 23 年 8 月・11 月、平成 24 年 3 月
発 送 先：県内市町村、県内高等学校、地域包括支援センター、会員所属施設
（社）日本作業療法士協会、九州各県士会
- 9) 各種研修会等への講師派遣
- 大分県シルバー人材センター連合会 訪問介護員養成研修 5 回
担当科目：住宅・福祉用具に関する知識
 - 大分市保健所社会復帰支援教室 2 回
 - 豊後高田市乳幼児発達相談会における相談指導 1 回
 - 大分県介護予防市町村支援委員会「運動機能向上専門部会」研修会 1 回
- 10) 地域リハ関連諸団体との連携
- 大分県老人福祉計画策定協議会 委員
 - 大分県リハビリテーション協議会 委員
 - 大分県リハビリテーション支援センター連絡協議会 委員
 - 地域リハビリテーション広域支援センター 運営委員
 - 大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会 委員
 - 大分県障がい者体育協会 ジュニア育成委員会 委員
 - 大分県保健医療団体協議会 会員
 - 大分県地域リハビリテーション研究会 会員
 - 大分県高次脳機能障がい連絡協議会 会員
 - 大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会 委員

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域リハビリテーションにおける作業療法（士）の役割は、地域生活における対象者の「できること」を増やしていくことや、その人にとって「意味のある作業」をとともに探していくことであると考えられる。しかし、未だ病院や施設の中で機能訓練を中心としたリハビリテーションが実施されている状況で、地域の様々なニーズに応えられる人材や資源が不足している実情がある。当協会としては、地域リハ関連の活動をより一層充実させるとともに、各地域の実情に応じた人材の発掘や育成に力を注いでいきたい。特に、地域包括ケアシステムの構築に向けた様々な動きに対しては、（一社）日本作業療法士協会が進めている「生活行為向上マネジメント」の普及を最重要課題の一つと位置づけ取り組んでいきたいと考えている。

今後も県や市町村、広域支援センター等と連携しながら、支部単位での活動を充実させ、より地域に根ざしたリハビリテーションの展開を図っていきたい。

(社) 大分県歯科医師会

会長 長尾博通



1. 会の現状

会員数：618名（平成24年4月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当し活動を行っている。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し80歳で20本自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールする。

第18回高齢者のよい歯のコンクールでは優秀賞5名、優良賞20名を選出し表彰した。

* 老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を訪問し入居者の口腔内検診、歯科衛生士会による口腔ケア、技工士会による義歯のネーム入れを行う。最後に施設関係者と共に講評を行う。23年度は、別府市の介護有料老人ホーム「愛の里サンビィラ」を訪問し、上記のプログラムの他、歯科講話を行い入居者、施設職員に口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防について話した。

* 障がい者施設訪問歯科保健事業

平成19年度より、県内の障がい者施設を訪問し、歯科保健活動を展開している。平成23年度は大分県身体障害者福祉協会の依頼を受け、大分市の豊の国健康ランドホテルで9月18日に開催した独身障がい者「希望のつどいふれあい交流会」の会場で事業を実施した。事業の内容は、歯科検診、歯科衛生士会による「お口の健康体操」及び口腔ケア、参加者に虫歯予防及び歯周病予防をより興味を持たせるために歯科医師手作りの絵図を使用して寸劇を行った。

* 介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中の口腔ケアを視野に入れた講演会である。会員だけでなく介護施設にも案内状を送っており、施設職員を中心に他職種の方も多数参加する。23年度の研修会では、VE画像を通して安全な摂食、嚥下の方法を理解してもらい要介護者の誤嚥予防に役立つように「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」と題して行われた。講師は日本大学歯学部摂食機能療法学講座 准教授 戸原 玄。参加者は235名であった。

＊障がい者歯科シンポジウムの開催

大分県の障がい者歯科保健における問題点及び今後の各団体の役割を明らかにするために開催した。

基調講演は「障がい者歯科への理解、地域で診る障がい者歯科」、講師はおがた小児歯科医院理事長 緒方克也。

シンポジウムは、大分県立新生支援学校教諭 相馬義視、別府発達医療センター大分療育センター歯科衛生士 阿部妙子、きふね小児歯科院長 木船敏郎の3人の講師により講演があり、その後聴講者と共にディスカッションを行った。参加者数は110名であった。

＊口腔機能回復支援指導者養成研修会

通院することが困難な在宅の患者に対し肺炎を直接引き起こす摂食・嚥下障害に対応できる歯科医師を育成するために実施した。

2日間にわたり、アセスメント・スクリーニングテスト講義及び実習から始まり、VE実習を実施した。最後に多数の症例検討を行うことで実際の臨床を体感してもらった。県下29名が受講した。

＊各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・都道府県歯科医師会介護保険指導者連絡会
- ・大分県へき地医療対策協議会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

24年度の介護報酬改定において、要介護者の口腔管理に対する評価が見直されている。介護予防サービスにおいては、複数のプログラムを組み合わせた場合の機能改善は顕著であり、口腔機能向上サービスによる期待は高い。また介護保険施設入居者に、歯科衛生士が直接口腔ケアを実施した場合の評価が新設された。

このような要介護者の継続的な口腔衛生管理に対してどのように会員が関わられるようにするかが今後の課題である。また、有病者に対しても口腔衛生管理の有益性は計り知れないため、日本歯科医師会が展開しているがん患者の口腔ケアに対する医科歯科連携事業を大分県でも構築するために全力で取り組んでいく次第である。

(一社) 大分県歯科衛生士会

会長 高藤千鶴



1. 会員数 191名 (平成24年5月現在)

- 2支部 県南地区 (佐伯、津久見、臼杵) 24名
- 豊肥地区 (竹田、豊後大野) 14名

2. 地域リハ関連の取り組み

I 研修会：主催

- ①地域歯科保健研修会「地域歯科保健指導と食育」 7/2
- ②口腔ケア研修会「摂食・嚥下障害とリスク管理～吸引法の理解と実際」 7/24
- ③障がい者口腔ケア研修会 11/27
「障がい児(者)の口腔ケア～障がい児(者)の特徴と対応～」
- ④大分県委託口腔保健推進事業 研修会 1/29
「摂食・嚥下障害の対応と支援～口から食べることの意義～」
「人に優しい食事支援」
- ⑤歯科衛生士再就職支援リカバリーセミナー (大分県歯科医師会共催) 2/19

II 研修会：後援・協力

- ①大分県地域リハビリテーション研究会 10周年記念講演 6/18
- ②第7回大分県リハビリテーション支援センター
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 7/10
- ③宮崎県歯科衛生士会研修会 7/17
- ④第9回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 8/21
- ⑤第4回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 10/23
- ⑥第4回九州山口口腔ケアシンポジウム in TAMAGUCHI 10/5~6
- ⑦第2回日本口腔ケア協会学術大会 参加協力 12/4
- ⑧第10回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 3/4

III 学術発表

- ①第9回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 8/21 発表3題
- ②日本歯科衛生士会第5回学術大会 9/23~25 発表1題
- ③第4回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 10/23 発表1題
- ④大分県歯科医師会 障がい者歯科シンポジウム 12/11 発表1題

IV 講師派遣

- ①県内の市町の母子事業、地域支援事業
- ②障がい児施設の口腔保健教室

- ③大分県社会福祉介護研修センターの介護教室・摂食・嚥下セミナー
- ④別杵速見・大分・竹田圏域地域リハビリテーション広域支援センター口腔ケア研修会
- ⑤大分県口腔機能向上・栄養専門部門研修会 研修会
- ⑥公益社団法人大分県看護協会 教育研修会
- ⑦一般社団法人大分県言語聴覚士協会 研修会

V 会議出席

@地域リハビリテーション関係

- ・大分県地域リハビリテーションセンター広域支援センター
(速見・別府、杵築、中部、南部圏域)
- ・大分県地域リハビリテーション研究会

@行政関係

- ・大分県 8020 運動推進協議会・大分県在宅歯科診療検討部会、
- ・大分県口腔機能向上・栄養専門部門部会
- ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会・各保健所地域歯科保健検討会
- ・各保健所地域在宅歯科診療検討協議会・大分市母子保健小委員会

VI 大分県歯科医師会 高齢者、障がい者施設訪問事業に協力

- ①ボランティア活動（西別府病院） 7/16・3/3
- ②愛の里サンビィラ（別府市） 8/20
- ③独身障害者希望のつどい（大分市：豊の国健康ランド） 9/18

3. 課題・今後の展開

昨年、口腔保健の推進に関する法律が成立し、口腔ケアや機能維持向上が全身健康管理に深く関与している認識が浸透してきていると感じます。地域の方々がいきいきと質の高い生活を送る為に、歯科衛生士は歯科関連の高い知識とスキルを磨くだけに留まらず、医科歯科連携のコーディネーターの役割を担っていきたいと考えています。

今後、地域リハビリテーション圏域ごとに支部を設立し、より地元で根ざした活動を通じて組織力強化を目指しながら、他職種との協働と連携が地域社会への波及効果に繋がるよう、取り組んでいきたいと思っております。

しっかりとした目標達成を展開するためにも、長期・中期・短期目標を設け、資質向上委員会を立ち上げました。今年度も真摯に努力してまいります。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長 深見 憲一

1. 会の現状

会員センター 61センター

- ・地域包括支援センター 42センター
- ・在宅介護支援センター 11センター
- ・地域総合相談支援センター 8センター

2. 主な活動・取り組み

(1) 研修会の開催

① 第1回地域住民支援技術研修会

日時 平成23年12月14日(水) 10:00~15:00

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加 50名

内容 講義・演習「効果的な面接技術～NLPを活用した対人援助技術」
Healing forest～癒しの森～NLPカウンセラー・セラピスト
社団法人大分県社会福祉士会

理事 明石 二郎

② 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日時 平成24年1月18日(水) 10:00~15:00

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加 40名

内容 講義・演習「ファシリテーション技術の習得」
九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授
(特活) 日本ファシリテーション協会 フェロー

加留部 貴行

③ 小地域福祉活動研修会

日時 平成24年1月24日(火) 10:00~15:00

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加 105名

内容 講義Ⅰ「グループ運営のコツ～グループお悩み解決ベスト5～」
講義Ⅱ「企画力パワーアップ」講座
夢こらぼ 主宰 松尾 やよい

④ 第2回地域住民支援技術研修会

日時 平成24年3月10日(土) 9:45~16:30

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加 29名

- 内 容 講 義「地域包括支援センターにおける総合相談支援と支援計画」
 演習Ⅰ「総合相談受け付けと情報収集」
 演習Ⅱ「アセスメント①～ジェノグラムとエコマップを活用する～」
 「アセスメント②～家族の歴史、関係の変化を時間軸で整理する～」
 「アセスメント③～課題整理の手法～」
 演習Ⅲ「支援計画の作成と包括内会議」
 講 義「グループ発表とまとめの講義」
- 大牟田市中央地域包括支援センター 梅本 政隆
 小郡市地域包括支援センター 稲吉 江美

(2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や会議等の活動に対する支援

3. 情報提供及び調査研究

(1) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会アンケート調査の実施

- 対 象 県内の地域包括支援センター、総合相談センター、在宅介護支援センター
 期 間 平成23年9月1日(木)～9月20日(火)
 回 答 59センター(85センター中)

(2) 他機関が実施する各種研修会への参加案内

- ①大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
 ②大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
 ③高次脳機能障がい専門職員養成研修会
 ④大分県脳卒中地域連携研修会
 ⑤障がいの権利擁護・地域生活定着支援セミナー
 ⑥権利擁護・虐待防止セミナー
 ⑦ステップアップ研修
 ⑧社会福祉施設等経営支援セミナー 等

4. 関係機関・団体との連携

(1) 県内関係機関・団体との連携

- ①大分県地域リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席
 ②大分県地域生活定着支援事業運営協議会への出席
 ③大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会への出席

(2) 県との協調・支援

(3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

5. 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時 平成23年11月17日(木)～18日(金)

会 場 鹿児島サンロイヤルホテル(鹿児島市)

参 加 334名(29名)

内 容 基調報告「地域包括ケアシステム推進と地域包括支援センター・在宅介護支援センターの課題について(レポート)」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員長 西元 幸雄

講演Ⅰ「地域包括ケアの実現に向けて」

厚生労働省老健局振興課 課長 川又 竹男

講演Ⅱ「住民主体の地域づくり」

やねだん公民館 館長 豊重 哲郎

分科会

第1分科会「関係機関とネットワーク構築のあり方」

桜美林大学大学院老年学研究科 教授 白澤 政和

第2分科会「介護予防ケアマネジメントの効果的な進め方」

東北大学大学院医学系研究科 教授 辻 一郎

大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居光雄



1. 会の現状

会 長：武居光雄 副会長：三浦晃史、平岡 賢 幹 事：各団体より代表者 1 名
監 事：本田昇司、河野俊貴 顧 問：佐竹孝之、森 照明、原田禎二 名誉顧問：有田 眞
所属団体：16 団体

大分県地域リハ医師懇話会	(社)大分県歯科医師会	(公社)大分県栄養士会
(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県看護協会	大分県臨床心理士会
(公社)大分県作業療法協会	(公社)大分県薬剤師会	大分県医療ソーシャルワーカー協会
(一社)大分県言語聴覚士協会	(一社)大分県歯科衛生士会	(公社)大分県放射線技師会
大分県介護支援専門員協会	(一社)大分県介護福祉士会	(社)大分県臨床検査技師会
(社)大分県臨床工学技士会		

2. 平成 23 年度 活動報告

① 大分県地域リハビリテーション研究会 10 周年記念講演会の開催

日 時：平成 23 年 6 月 18 日(土) 参加者：232 名
会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室
テーマ：『ドイツにおける介護保険制度の運用と問題点そして将来展望』
講 師：Dr. Hans Gerber(ハンス・ゲルバー博士)
司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会 長 武居光雄

② 第 8 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成 23 年 7 月 10 日(日) 参加者：237 名
会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室
▶ シンポジウム
『大分県における地域連携を考える～地域包括ケアシステム構築に向けた動き～』
司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一
(社)大分県臨床検査技師会 会 長 佐藤元恭
1. 「地域リハ研究会設立 10 年の歩み」
大分県地域リハビリテーション研究会 会 長 武居光雄
2. 「心不全患者を通しての地域連携の取り組み」
臼杵市医師会立コスモス病院 副院長 舛友一洋
3. 「認知症における医療連携について～由布物忘れネットワークの取り組み～」
佐藤医院 院 長 佐藤慎二郎

③ 第 4 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会の開催

日 時：平成 23 年 10 月 22 日(土) 参加者：103 名
会 場：大分全日空ホテル オアシスタワー 3 階 紅梅の間

④ 第4回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会の開催

日時：平成23年10月23日(日) 参加者：227名

会場：別府ビーコンプラザ 国際会議室、小会議室31

テーマ：『災害時の専門職としての役割』

(1) 基調講演『東日本大震災とリハビリテーション・ケア - 将来に向けてできること - 』

講師：東北大学病院リハビリテーション部長・内部障害リハビリ科長

東北大学大学院医学系研究科教授・専攻長 上月正博

(2) シンポジウム

➤ 大分県福祉保健部医療政策課 課長 小嶋浩久

➤ (一社)大分県介護福祉士会 会長 三浦晃史

➤ (社)大分県作業療法協会 副会長 日隈武治

➤ (社)大分県看護協会 会員 疋田尚子

➤ (社)大分県歯科医師会 常務理事 木村哲也

➤ 大分県臨床心理士会 会員 御手洗隆史

(3) 口述発表(12題)、ポスター発表(10題)

⑤ 広報誌の発行

第18号：印刷部数400部(平成24年3月31日発行)

⑥ 運営部会の開催

第1回：平成23年5月23日(月) 第2回：平成23年6月27日(月)

第3回：平成23年8月1日(月) 第4回：平成23年10月3日(月)

第5回：平成24年2月27日(月)

⑦ 役員会の開催

第17回：平成23年5月9日(月) 第18回：平成24年3月12日(月)

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

当研究会は設立10周年を迎え、県リハセンターとの合同研修会やリハ・ケア研究大会を通じ、県内の地域リハビリテーションの啓発及び普及に努めてきた。今後、地域包括ケアシステムの構築・運営に向け、多職種間の相互理解と連携が更に必要となる。そのため、当研究会では各職種の顔の見える関係作りができるよう、平成24年度からリハ・ケア研究大会と研修会を交互に開催することにした。今後も、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築や円滑な運営に向け活動していきたい。

(一社) 大分県病院協会

会長 川 篤 眞 人



I. 病院協会の現状(H24.3.31 現在)

- (1) 会員数 129 病院
会 長 川 篤 眞 人 (川 篤 整形外科病院)
副会長 松 本 文 六 (天 心 堂 へ つ ぎ 病 院)
副会長 畑 洋 一 (畑 病 院)
- (2) 支部構成 地区毎の理事、及び所属病院数
県北(所属病院数 24-理事:佐藤仁一、瀧上 茂)
別杵(所属病院数 23-理事:黒木健次、山本記顯)
大分(所属病院数 47-理事:有田 毅、武居光雄、岡 敬二、中村太郎、井野邊純一)
久大(所属病院数 20-理事:山本 亨、後藤憲文)
豊肥(所属病院数 4-理事:大久保 健作)
県南(所属病院数 11-理事:小寺 隆、曾根 勝)
- (3) 監事 帆秋善生、膳所憲二
- (4) 名誉会長:井野邊 義一、顧問:岡 宗由、参与:野口 志郎

II. 病院協会活動報告(総会資料より抜粋)

- (1) 平成 23 年度一般社団法人大分県病院協会定時社員総会
日 時 平成 23 年 6 月 25 日(土) 15:15～
場 所 トキハ会館 5F ローズの間 (大分市府内町 2-1-4)
特別講演 参加者 83 名
演 題 「これからの日本の医療・介護と病院経営」
講 師 安藤 高朗 ((社)全日本病院協会 副会長・医療法人社団永生会 理事長)
 - (2) 理 事 会 計 5 回開催
・第 1 回理事会 開催日時 平成 23 年 5 月 19 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
・第 2 回理事会 開催日時 平成 23 年 8 月 18 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
・第 3 回理事会 開催日時 平成 23 年 10 月 20 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
・第 4 回理事会 開催日時 平成 24 年 1 月 20 日
・第 5 回理事会 開催日時 平成 24 年 3 月 15 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
 - (3) 第 29 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催
・第 1 回実行委員会 開催日時 平成 23 年 4 月 21 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
・第 2 回実行委員会 開催日時 平成 23 年 9 月 15 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
- 第 29 回大分県病院学会 運営委員会 計 11 回開催
- ・第 1 回運営委員会 開催日時 平成 23 年 4 月 21 日、場所 県医師会館6F 研修室 I
 - ・第 2 回運営委員会 開催日時 平成 23 年 5 月 10 日、場所 病院協会事務局

- ・第3回運営委員会 開催日時 平成23年6月14日、場所 病院協会事務局
- ・第4回運営委員会 開催日時 平成23年8月3日、場所 病院協会事務局
- ・第5回運営委員会 開催日時 平成23年8月9日、場所 病院協会事務局
- ・第6回運営委員会 開催日時 平成23年9月6日、場所 病院協会事務局
- ・第7回運営委員会 開催日時 平成23年9月15日、場所 県医師会館6F 研修室 I
- ・第8回運営委員会 開催日時 平成23年10月18日、場所 病院協会事務局
- ・第9回運営委員会 開催日時 平成23年11月1日、場所 別府ビーコンプラザ B2F リハーサル室
- ・第10回運営委員会 開催日時 平成23年12月9日
- ・第11回運営委員会 開催日時 平成24年1月24日、場所 病院協会事務局

(4)第29回大分県病院学会

学会テーマ 「四病協に結集して、輝く未来を切り開こう」

日 時 平成23年11月20日(日) 8:45～16:00

場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ

参加人員(概数) 医師62名 事務部会392名 看護部会1,143名 栄養部会95名
医療技術部会378名 社会福祉部会130名 その他302名 計2,502名

特別講演

演 題 「全日本病院協会の今後の活動方針と医療情勢」

講 師 西澤 寛俊 (全日本病院協会会長・社会医療法人恵和会西岡病院 理事長)

シンポジウム「東日本大震災と医療」 -災害と医療を考える-

シンポジスト

大分三愛メディカルセンター 救急科部長 大分 DMAT 代表幹事 玉井 文洋

株式会社スーパー細川 代表取締役 細川 唯

社会医療法人財団天心堂へつぎ病院 副院長 林 良彦

コメンテーター

NPO法人 レスキューサポート九州 代表 木ノ下 勝矢

分科会 演題総数 161 題 (口演 60 題 ・ ポスター101 題)

(5)その他の会議

- ・九州4県(長崎、熊本、大分、福岡)病院団体長調整会議

日 時 平成24年2月14日(火) 17:00～18:00

場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡

(6)研修会への名義後援等

- ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・高次脳機能障害リハビリテーション講習会

Ⅲ. 部会活動報告

平成23年度 事務部会事業報告

○ 研 修 会

- ・第1回 研修会 参加者285名

日 時 H23年6月24日(金)14:00～15:40

場 所 大分県医師会館 6・7階大会議室(大分市大字駄原 2892-1)

演 題1 「施設基準について」

講 師 九州厚生局大分事務所 審査課長 中野真司

演 題2 「健康保険法に基づく指導・監査等について」

講 師 九州厚生局大分事務所 指導課長 花房義孝

・第2回 研修会 参加者 95名

日 時 H24年 1月23日(月) 14:00～16:00

演 題 「使用者のためのポイント労働法について」

～病院関係の相談事例、職場の労働管理と安全配慮義務～

講 師 大分県 商工労働部 労政福祉課 労働相談・啓発班 参事 河野健造

○ 役 員 会 計 2回開催

・第1回役員会 開催日時 平成23年5月10日、場所 三愛メディカルセンター会議室

・第2回役員会 開催日時 平成23年10月7日、場所 三愛メディカルセンター会議室

平成23年度 看護部会事業報告

○ 研 修 会

・第1回 研修会 参加者 149名

日 時 H23年 7月2日(土) 13:20～

テーマ 「看護師さん、なしか。でも頼りにしちよるんで」

講 師 コピーライター 吉田 寛

場 所 大分県医師会館 7F

・第2回 研修会 参加者 109名

日 時 H23年 9月 3日(土) 13:20～

テーマ 「苦しむ患者さんから 逃げない」

講 師 めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊

場 所 大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 2F大会議室

○ 役 員 会 計 4回開催(7/2、9/3、1/27、3/6)

・第1回役員会 開催日時 平成23年7月2日、場所 県医師会館 7F

・第2回役員会 開催日時 平成23年9月3日、場所 県消費生活男女共同参画プラザアイネス

・第3回役員会 開催日時 平成24年1月27日、場所 県医師会館

・第4回役員会 開催日時 平成24年3月6日、場所 県医師会館 5F

平成23年度 栄養部会事業報告

○ 研 修 会

・第1回研修会 参加者 99名

日 時 平成23年6月4日(土) 13:00～17:00

場 所 大分県医師会館 6F研修室 I

講演 I 「呼吸器疾患の栄養管理～集中治療室から在宅まで」

講師 甲原芳範 (佐賀関病院副院長 こうぎきクリニック院長)

講演 II 「実践 NST! NSTをつくろう・NSTに参加しよう・NST専従になろう」

講師 田崎亮子 (新別府病院 栄養管理室長 管理栄養士)

・第2回研修会 参加者 59 名

日 時 平成 23 年 9 月 17 日(土) 13:00～17:00

場 所 大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I 「大分県内のNSTへの取り組みと加算についての現状」

講師 中野広美 (佐賀関病院 管理栄養士)

講演 II 「東日本大震災における管理栄養士の活動について」

講師 津田克彦 (大分県福祉保健部健康対策課 主幹)

本多友子 (大分県福祉保健部監査指導室 主査)

小笠原光 (大分県東部保健所 技師)

講演 III 「巨大津波地震から 2 ヶ月の宮城県気仙沼市で私が会った栄養士会の人たち」

講師 堀内桂輔 (天心堂へつぎ病院)

・第3回研修会 参加者 112 名

日 時 平成 24 年 1 月 28 日(土) 13:00～17:00

場 所 大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I 「経腸栄養について～成分と使い方～」

講師 山口泉 (旭化成ファーマ(株)医薬営業本部 ヘルスケア製品部)

講演 II 「栄養士にも知ってほしい輸液管理」

講師 二村昭彦 (藤田保健衛生大学七栗サナトリウム医療技術部薬剤課 薬剤師)

○ 役員会 計 6 回開催

・第 1 回役員会 開催日時 平成 23 年 4 月 16 日、場所 ガーデンパーク 21 1 階 笑暖

・第 2 回役員会 開催日時 平成 23 年 6 月 4 日、場所 県医師会館 6F 研修室控室

・第 3 回役員会 開催日時 平成 23 年 9 月 17 日、場所 県医師会館 6F 研修室控室

・第 4 回役員会 開催日時 平成 23 年 11 月 26 日、場所 ガーデンパーク 21 1 階 笑暖

・第 5 回役員会 開催日時 平成 24 年 1 月 28 日、場所 県医師会館 6F 研修室控室

・第 6 回役員会 開催日時 平成 24 年 3 月 3 日、場所 ガーデンパーク 21 1 階 笑暖

平成 23 年度 社会福祉部会事業報告

○ 研 修 会

・第1回研修会 33 名

開催日時 平成 23 年 8 月 27 日(土) 14:00～16:30

開催場所 アステム大分本社4F 大会議室

内 容 『チームでつくる地域連携 ～大分市東部地区の取り組み～』

講 師 岡江 晃児 (独立行政法人国立病院機構 大分医療センター

地域医療連携室 医療社会事業専門員)

・第 2 回研修会 参加者 50 名

開催日時 平成 23 年 2 月 26 日(土) 14:00～16:20

開催場所 アステム大分本社4F 大会議室

内 容 『認知症と向き合う』

講 師 瀧野 勝弘 (医療法人社団淵野会緑ヶ丘保養園 院長

大分県認知症疾患医療センター長)

講 師 衛藤 政子 (社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 在宅福祉サービス課

大分市老人デイサービスさざんか 事業所長)

○ 役員会 計7回開催

- ・第1回役員会 開催日時 平成23年4月19日、場所 諏訪の杜病院
- ・第2回役員会 開催日時 平成23年6月9日、場所 大分共立病院
- ・第3回役員会 開催日時 平成23年8月18日、場所 諏訪の杜病院
- ・第4回役員会 開催日時 平成23年10月25日、場所 大分共立病院
- ・第5回役員会 開催日時 平成23年12月6日、場所 諏訪の杜病院
- ・第6回役員会 開催日時 平成24年1月27日、場所 大分共立病院
- ・第7回役員会 開催日時 平成24年2月6日、場所 諏訪の杜病院

IV. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、大分県病院協会としてどのように行動すべきか検討中です。

(公社) 大分県放射線技師会



会長 村上 康則

I. 会の現状

会長 村上 康則 (大分大学医学部附属病院)

副会長 江藤 芳浩 (西田病院)

副会長 桑原 宏 (天心堂へつぎ病院)

会員数 344名(平成24年3月31日現在)

	会員数
県北	32
国東	12
日田	10
別府	80
大分	160
豊肥	14
県南	32
その他	4
計	344

平成24年4月1日より、公益社団法人として新たなスタートをきりました。東日本大震災の関連で、当会がホームページで行っている被ばく相談の件数が増えました。また、訪問事業の回数も平成23年度は増えました。

当会では、万が一の放射線災害など緊急事態の際に活動できる放射線測定の実験家の育成を事業活動の重要な目的のひとつとしています。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み (他職種との連携も含む)

1. 地域リハビリテーション10周年記念講演会 (平成23年6月18日 (土))
別府市ビーコンプラザ 6名参加
2. 第8回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
(平成23年7月10日 (日)) 別府市ビーコンプラザ 1名参加
3. 第4回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会
(平成23年10月23日 (日)) 別府市ビーコンプラザ 5名参加
4. レントゲン週間イベント
日時:平成23年11月3日 (木)
場所:パークプレイス
内容:3Dワークステーションを用いた画像診断の体験、パネル展示、被ばく相

談、体内脂肪測定、骨密度測定など行い県民との対話を目的に開催し、約600人の家族連れが訪れ盛況でした。6件の被ばく相談がありました。

5. げんきフェア（平成23年12月11日（日） 豊の国健康ランド）

6. 放射線管理研究会（他職種からの講師招聘）

日時：平成23年7月30日（土）

場所：大分県看護研修会館 参加者：38名

「被ばく相談の対応に関して ー臨床心理士の立場からー」

大分県臨床心理士協会 出口 直子

日時：平成24年2月25日（土）

場所：大分記念病院 参加者：31名

「当会における東日本大震災へのかかわりに関して」

大分県医療ソーシャルワーカー協会 常務理事 井元 哲也

7. 第14回大分県放射線技師会学術大会（他職種も参加）

日時：平成24年3月3日（土）

場所：大分記念病院

テーマ：腰椎 参加者：78名（非会員 6名）

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

【研究課題】

1. 体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術ならびに撮影補助具に関する研究
2. 骨密度検査の精度についての研究
3. CTを使用した内臓脂肪測定の精度についての研究
4. 嚥下造影撮影の工夫、改善
5. 高次脳機能障がいに関する画像検査法の研究

【連携】

1. リハビリの機能評価と画像情報の関連について、他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながるような検査方法を模索する。
2. 骨密度測定、内臓脂肪測定を行う立場から転倒予防教室など院内での活動に参画する。
3. 広域支援センターの診療放射線技師がリハビリ関連分野に積極的に関与する。
4. CT・MRを使用した画像検査に従事し、脳梗塞の早期発見、早期治療による高次脳機能障がいの重症化を防ぐための画像診断を支える。
5. チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての役割を果たす。

(公社) 大分県薬剤師会

会長 安東 哲也



1. 会の現状

会員数:1,380名(平成24年5月1日現在)

2. 地域リハ関連活動・取り組み

(1) 講習会の開催

時 期:平成24年2月4日

場 所:大分県薬剤師会 3F 研修ホール

講 師:日本薬剤師会理事 川添 哲嗣先生

演 題:「明日から誰でもできる楽しい在宅医療」

(2) 各種講習会・研修会への参画

ア) 第2回地域包括ケアシステム研修会への参加

イ) 第4回大分地域リハ・ケア研究大会への参加

ウ) 大分県地域リハ10周年記念講演会への参加

エ) 大分県介護予防市町村支援委員会

(3) 委員会等の開催

在宅アクションプログラムの推進ならびに多職種連携について会員等に周知した。

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

22年度事業として地域連携を推進するための「在宅療養推進アクションプラン」について保険薬局を対象にアンケート調査を実施した。結果約90薬局が在宅応需協力薬局として登録し県薬HPに掲載している。

また、「在宅医療連携拠点事業」として別府市医師会訪問看護ステーションが指定されたことから、別府薬剤師会も参加し、意見交換会をとおして多職種連携について協議している。

このようなことから、当会は地域間における多職種連携を推進する観点から地域(支部)講習会を開催することにより、会員への周知方を図っていく所存です。

また、昨年の中日本大震災で、「お薬手帳」の有用性が改めて示され、今年度調剤報酬の改定において薬歴・情報提供等々「お薬手帳」が包括化されたところであり、患者様への更なる啓発ならびに多職種の方々への周知も含め、「お薬局手帳」を通しての共用性を深めていきたいと思っております。

医療機関にかかる時(入退院時等)

お薬をもらう時(保険薬局等)

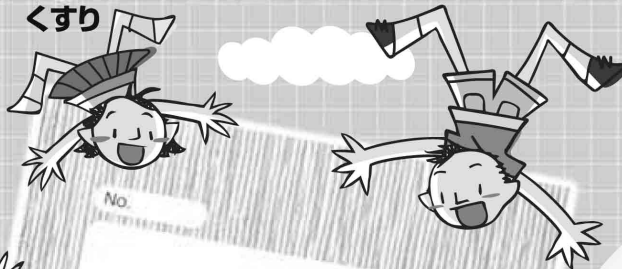
おくすり手帳が あなたの薬を覚えてくれます。



おくすり手帳とは

おくすり手帳は、各医療機関に渡すだけで、あなたのお薬の記録や現在の服用薬といった情報を正確に伝えることができ、あなたがお薬を安全・安心に使用できる大変便利な手帳です。

くすり



おくすり手帳は、 1冊に

他医療機関などでお薬をもらうときにも、医師、歯科医師、薬剤師にお薬手帳を見せることで、同じ薬が重複しない、あるいは飲み合わせなどについても確認することができます。

No. _____
さまの
おくすり手帳
病院・医院・薬局共通でお使いいただけます。



この手帳はあなたの健康を守る大切な記録です。
病院・医院・薬局にご提示ください。

おくすり手帳の 利用法

1. 病院や医院、歯科医院、薬局に行ったときには、毎回、必ず医師・歯科医師や薬剤師に提出して下さい。
2. 薬局で市販のお薬を買った場合にも、記録して下さい。
3. 病院や薬局でお薬の名前等を書いた説明書を渡された場合は、そのまま貼って下さい。
4. お薬について、わからないこと、困ったこと等があるときには、手帳の右下にある空欄に記録しておきましょう。
5. あなたがもらったお薬の記録になりますので、大切に保管して下さい。

大分県医師会・大分県歯科医師会
大分県薬剤師会・大分県病院薬剤師会

(公社) 大分県理学療法士協会

会長 河野 礼 治



平成 23 年度は、公益社団法人大分県理学療法士協会となり、前年度にまして介護予防・支援キャラバンや大分県全域での公益事業が実施することができました。更には他組織への人的派遣や会議出席等の協力支援事業も年々増加しており、公益社団法人としての活動が幅広く活発に行われました。

I. 会の状況

- (1) 会員数 : 1,018 人
- (2) 支部構成 : 県内 6 ブロック (大分, 別府速見, 県北, 県南, 久大, 豊肥)

II. 地域リハに関わる活動

【1】地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

1. 第 7 回介護予防キャラバン テーマ「姿勢を良くして介護予防」

①ケアポート溪和 (玖珠郡九重町)

日 時 : 平成 23 年 12 月 4 日 (日) 10 : 00 ~ 12 : 00

講 師 : 中原佑太郎 (別府リハビリテーションセンター), 石井順次 (日田中央病院),
時松寿幸 (秋吉病院)

対 象 : 施設職員及び近隣施設職員 参加者 19 名

②介護福祉支援センター富士見が丘 (大分市)

日 時 : 平成 23 年 12 月 11 日 (日) 9 : 00 ~ 11 : 00

講 師 : 中原佑太郎 (別府リハビリテーションセンター), 三輪祥平 (諏訪の杜病院),
川上健二 (大分大学医学部附属病院), 染矢尚規 (井野辺病院)

対 象 : 施設職員及び一般県民 参加者 20 名

③泰生の里 (別府市)

日 時 : 平成 23 年 12 月 20 日 (火) 19 : 00 ~ 20 : 00

講 師 : 中原佑太郎・林直弘・戸高良祐 (別府リハビリテーションセンター)

対 象 : 施設職員 参加者 52 名

④竹田市社会福祉協議会地域包括支援センター大ホール (竹田市)

日 時 : 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 19 : 00 ~ 21 : 00

講 師 : 中原佑太郎 (別府リハビリテーションセンター), 是永浩二 (みえ病院),
伊藤正和・興栢貴美恵 (みょうばんクリニック)

対 象 : 施設職員 参加者 31 名

2. 介護支援キャラバン テーマ「リハビリテーション介護の提案」一起居・移乗の介助法一

①大分記念病院 (大分市)

日 時 : 平成 23 年 8 月 21 日 (日) 10 : 00 ~ 12 : 00

講 師 : 佐々木紘幸・谷川千春・生野ユカ・三輪祥平 (諏訪の杜病院),

前田哲志・中尾彩（大分記念病院）、峰哲平（大分三愛メディカルセンター）、
須藤洋明（ハートクリニックイーストセンター）、中村亜由美・金子真樹（若葉苑）

対 象：近隣施設職員 参加者 31名

②佐藤第一病院（宇佐市）

日 時：平成 23 年 8 月 28 日（日）10：00～12：00

講 師：林直弘、戸高良祐（別府リハビリテーションセンター）

伊藤正和・興柁貴美恵（みょうばんクリニック）、

岩永純一・中村裕（和田病院）、

佐藤幸喜・井本健太・川上友香（佐藤第一病院）

対 象：近隣施設職員 参加者 44名

【2】行政等他組織の事業への協力・支援

1. 訪問介護員養成講座等への講師派遣

①大分県シルバー人材センター連合会 テーマ「リハビリテーション医学の基礎知識」

②河野文化学園 テーマ「リハビリテーション医学の基礎知識」

③介護労働安定センター テーマ「訪問介護員基礎研修」「ガイドヘルパー養成研修」

④介護支援専門員及び介護福祉士受験対策講座

⑤介護労働研修会 テーマ「福祉用具の活用と住宅改修による自立支援」「リハビリテーション医療の基礎的理解」

⑥企業組合・労協センター事業団 テーマ「住宅・福祉用具に関する知識」「リハビリテーション医療の基礎知識」

⑦大分県ホームヘルパー協議会 テーマ「リハビリテーション介護の提案－起居・移乗の介助法－」

○大分県社会福祉協議会介護研修センター 2階（大分市）

日 時：平成 24 年 2 月 7 日（火）13：00～15：00

講 師：生野ユカ（諏訪の杜病院）

対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加者 27名

○ホームヘルプセンター紫雲（豊後大野市）

日 時：平成 24 年 2 月 8 日（水）19：00～21：00

講 師：林 直弘（別府リハビリテーションセンター）

対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加者 19名

○いずみの園地域交流ホームいずみ館（中津市）

日 時：平成 24 年 2 月 20 日（月）18：30～20：30

講 師：高橋知良（清流荘）

対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加者 23名

⑧キャリア形成訪問事業 出向者：宮原龍司（藤華医療技術専門学校）

○日 時：平成 23 年 11 月 1 日（火）19：00～20：00 グループホームやまが苑

テーマ：「筋力低下を防ぐためにグループホームにできるリハビリ法」

○日 時：平成 24 年 1 月 16 日（月）17：30～19：00 社会福祉法人アップルメント

テーマ：「リハビリ要素を含んだ軽い運動方法」

○日 時：平成 24 年 1 月 17 日（火）18：30～19：30 グループホームやまが苑

テーマ：「拘縮予防のために介護職にできること」

⑨大分県介護予防運動機能向上研修会（大分県主催）

日 時：平成 24 年 1 月 31 日（火）

テーマ：「運動と痛み」

出向者：高橋知良（清流荘）

2. リレー・フォー・ライフ

日 時：平成 23 年 10 月 23 日（金）～24 日（土）

参加者：63 名

3. 大分県社会福祉介護研修センターまつり 2011 への協力

日 時：平成 23 年 11 月 6 日（日）10：00～ 大分県社会福祉介護研修センター

4. 介護認定審査会への認定委員派遣（県下 6 圏域に対して 21 名出向）

5. 障害者介護給付費等認定審査会委員派遣（県下 2 圏域に対して 2 名出向）

6. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業（県下 4 施設に対して 4 名出向）

7. 別府溝部学園短期大学 テーマ「リハビリテーション」

【3】理学療法の知識の普及啓発に関する事業

1. 理学療法士の活動について啓発事業（公開講座）

日 時：平成 23 年 9 月 4 日（日）フレッシュランドみえ

テーマ：「腰痛解消法」

講 師：会長 河野礼治

参加者：一般 33 名，会員 6 名

2. 理学療法週間の実施

期 間：平成 23 年 7 月 10 日（日）～17 日（土）

後 援：大分県，大分県社会福祉協議会，大分合同新聞社，NHK 大分放送局，OBS 大分放送，
TOS テレビ大分，OAB 大分朝日放送

①高校生対象理学療法説明会

参加者：22 校 104 名

会場及び日時：

佐伯会場 平成 23 年 7 月 13 日（水）14：00～15：30 健康保険南海病院

三重会場 平成 23 年 7 月 13 日（水）14：00～15：30 エイトピアおおの 第 1 会議室

大分会場 平成 23 年 7 月 15 日（金）14：00～15：30 コンパルホール 4 階視聴覚室

別府会場 平成 23 年 7 月 14 日（木）14：00～16：00 ビーコンプラザ 小会議室 31

宇佐会場 平成 23 年 7 月 16 日（土）14：00～15：30 さんさん館

日田会場 平成 23 年 7 月 16 日（土）14：00～15：30 日田中央病院 リハビリ室

②理学療法週間イベント

日 時：平成 23 年 7 月 10 日（日）10：00～14：00

会 場：あけのアクロスタウン，トキハ別府店

内 容：①筋力・バランス能力測定 ②パネル展示 ③理学療法に関する相談会 ④記念品等の配付

参加者：あけのアクロスタウン 58 名，トキハ別府店 30 名

3. 別府速見ブロック理学療法啓発事業

日 時：平成 24 年 2 月 26 日（日）由布市社会福祉協議会福祉センター内 大会議室

テーマ：「やってみよう骨盤底筋体操～理学療法士のはなすトイレの話～」

講 師：別府リハビリテーションセンター 理学療法士 毛井 敦

参加者：由布市民 26 名

4. 県南ブロック理学療法啓発事業

日 時：平成 23 年 10 月 21 日（金）津久見中央病院

テーマ：「起居移乗動作法」

講 師：津久見中央病院 市野瀬優哉

参加者：会員 0 名, 会員外 35 名

5. 大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

日 時：平成 23 年 12 月 11 日（土）10：30～13：00

会 場：とよのくに健康ランド

内 容：①健康年齢チェック ②理学療法に関する相談会 ③記念品等の配布

参加者：41 名

協力者：藤井崇志（南海病院）、林直弘（別府リハビリテーションセンター）

Ⅲ. 地域リハの課題と今後の展望

大分県理学療法士協会ではこれまで、地域の方々へ理学療法知識・技術を用いてスポーツ分野や公開講座、介護の方法など提供することができました。これらの事業は大分県の各地域で実施することができました。また当協会では、理学療法士の対象となる方々が医療から在宅へと移行される際のソフトランディングを実現するため理学療法士間の連携について取り組んで参りました。しかし、問題点の明確化について達成することができましたが、具体的な連携システムの構築については、まだまだ課題の残る状況となっています。今後具体的なシステム構築に取り組んでいきたいと考えています。また理学療法士のみでの連携ではなく、他職種と連携することでより対象者が地域で住みやすくなるよう、地域リハビリテーションに関わって行きたいと考えております。そのためにも地域包括ケアシステムへの積極的な参加も今後の重要な私たちの役割であると考えています。

(社) 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤元恭



1. 会の現状

会員数：607名（5月10日現在）

支部構成：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

大分県臨床検査技師会は創立60年目を迎え、公益社団法人申請に向け準備を進めている。組織体制は事務局、学術部、組織部、企画部、経理部より成り、学術部は各学術分野を6部門23の専門分野に分け、組織部では県内を5地区に分けて定期的に学術集会や研修会を開催している。臨床検査は医療現場において、疾病の早期発見や正確な臨床診断には欠かせない業務であるが、近年、医療だけではなく、検診事業や公衆衛生、新薬の開発、予防医学などの分野でも臨床検査技師の技術が生かされている。NSTやICTなど他のメディカル・スタッフと協力のもとリハビリテーションの必要な急性期・慢性期患者に対しても積極的な関わりを持つようになってきた。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

①第43回大分県臨床検査学会

日時：平成24年3月4日(日)

場所：大分県立病院 3階 大講堂

特別講演：「いいちこの商品戦略～マーケティング視点で考えるお客様コミュニケーション」

三和酒類株式会社営業部長 お客様創造室 都留 敬文

②ガン征圧、乳がん撲滅に関する事業

「リレー・フォー・ライフ大分2011」に参加

日時：平成23年9月23日～24日

場所：大分銀行ドーム 西側大芝生広場

内容：(1)参加会員・家族52名によるタスキリレー及びがん患者との触れ合い

(2)企画テントにおいて「血流測定」を実施

(3)掲示ポスターにおいて臨床検査技師とがん早期発見の役割を啓発

③エイズ・STI 予防に関する事業

日時：平成23年12月3日

場所：大分駅構内、平松学園4階講堂

内容：①大分駅周辺においてSTI 予防啓発リーフレット、

技師会名入り付箋を約800部配布

②市民公開講演

「性行為感染症の現状」

大分県衛生環境研究センター 小河 正雄

参加人数：220名

④学術合同講演会

日時：平成24年1月14日

場所：大分東洋ホテル

講演1：「緩和ケアについて」

黒木記念病院緩和ケア病棟部長 江頭 眞由美

講演2：「医療安全について」

九州大学病院医療安全管理部副部長 入田 和男

参加人数：47名

⑥学術部主催 生涯教育講習会・勉強会

全31回（平成22年4月～平成23年3月）

部門：生物化学分析部門、生理機能検査部門、形態検査部門、
感染制御部門、移植検査部門、総合管理部門

⑦組織部主催 生涯教育講習会・勉強会

全31回（平成22年4月～平成23年3月）

地区：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区
地区情報交換会：15回

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

近年、医療団体協議会等の連携が重要となってきた。しかし、臨床検査は地域リハビリテーション活動との関わりにおいてはまだまだ希薄であると感じられる。従来の臨床検査の多くは検診事業や病院診療における疾病の早期発見、早期診断に主眼を置いてきたが、ここ数年で疾病診断以後の慢性期、回復期に対しても、身体の状態把握などにおいて側方支援を行うことが求められるようになり、寝たきり患者の感染防御対策、慢性疾患患者の栄養状態把握、循環器患者の心肺機能把握など支援できることが明確になってきた。データ標準化事業の推進により、大分県の多くの施設で測定された検査値は同様の尺度で解釈できるまでとなってきている。今後は臨床検査においても迅速かつ正確なデータを臨床側にフィードバックするだけでなく、少子高齢化に対応すべく介護福祉分野での貢献も考えていかなければならないと考える。

(社) 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



1. (社)大分県臨床工学技士会の現状

設 立：平成 2 年 6 月 24 日

社団法人設立：平成 20 年 1 月 31 日

- (1) 正会員数 269 名 (平成 24 年 4 月末日現在)
- (2) 賛助会員数 20 社

2. 大分県地域リハビリテーション関連の活動・取り組み

- (1) 大分県リハビリテーション支援センター第 9 回拡大運営会議への出席
平成 23 年 5 月 18 日(水) 湯布院厚生年金病院保健学習棟 3 階研修室
- (2) 第 8 回大分県地域リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会
参加協力
平成 23 年 7 月 10 日(日) ビーコンプラザ国際会議場
運営・会場スタッフ 2 名派遣
- (3) 第 4 回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 参加協力
平成 23 年 10 月 23 日(日) 別府ビーコンプラザ
- (4) 大分県保健医療団体協議会 げんきフェア
平成 23 年 12 月 11 日(日) 豊の国健康ランド
- (5) 大分県地域リハビリテーション研究会第 17・18 回役員会への出席
平成 23 年 5 月 9 日(月) 井野辺病院会議室
- (6) 大分県地域リハビリテーション研究会運営会議への出席 5 回/年
- (7) 大分県保健医療団体協議会理事会への出席 5 回/年

3. 大分県地域リハビリテーション関連の活動における課題・今後の展開

- (1) 大分県地域リハビリテーション関連大会・会議等への出席参加協力
- (2) 内部障がい者への臨床工学技士としての対応
- (3) 日本臨床工学会、九州臨床工学会開催時の参加協力
- (4) 大分県臨床工学会の公開講座参加の各団体への参加協力

会 期：平成 24 年 11 月 4 日(日)

場 所： 大分県看護研修会館

大分県臨床心理士会

会長 大嶋美登子



1. 大分県臨床心理士会の現状

正会員 180名、準会員 30名 (平成24年3月末 現在)

〔部門〕研修、子育て・発達支援、学校臨床、産業、医療保健高齢者・HIV、被害者支援、倫理、代議員、事務局

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

(1) 会議への参加

- ・大分県リハビリテーション支援センター 第9回 拡大運営会議
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 23年度の役員会議・運営会議

(2) 研修会の参加・発表

- ・第4回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：平成23年10月23日(日) 9:00～15:40 場所：別府ビーコンプラザ

テーマ「災害時の専門職としての役割」

シンポジウム：「災害時の専門職としての役割」

シンポジスト：御手洗隆史(小百合ホーム)

口述発表：

- ① 「感情を言語表出できず暴力を認めた高次脳機能障害児へのアプローチ ～遊戯療法を通じて～」 中川裕也(医療法人 光心会 諏訪の杜病院)
 - ② 「大分療育センターにおけるSSTの実践報告 ～ある小学生男児グループの変遷を中心に～」 井出志織(社会福祉法人別府発達医療センター 大分療育センター)
- *運営参加(羽坂雄介：湯布院厚生年金病院)

(3) 医療保健高齢者・HIV部門主催自主研修会

- ・医療領域で活動する会員相互の情報交換の場を提供

「第3回 医療現場に携わる臨床心理士の集い ～困難場面での対処と工夫～」

日時：平成23年10月2日(日) 9:30～12:00

場所：別府リハビリテーションセンター

- ・自主研修会の開催 ～医療現場の心理臨床を拓く～

今年度のテーマ：地域医療の中でがんとエイズの心理臨床を考える

研修会(1)「がんとエイズの心理臨床を知る」 3回シリーズ

- ① 拠点病院、その他での活動展開報告

「HIVカウンセリングを振り返って」

講師：大嶋美登子(別府大学)

日時：平成23年11月13日(日) 10:00～12:00

場所：別府大学

- ② がん緩和医療における心理臨床

「(がん)緩和ケアと心理臨床～がん患者と家族への支援」

講師：加藤真樹子（大分県厚生連 鶴見病院）
日時：平成 23 年 12 月 11 日（日） 10:00～12:00
場所：別府大学

③ がんとエイズ臨床の接近

「H I V の心理臨床から学ぶこと～がんの臨床とのつながりも視野に入れて～」

講師：矢永由里子（慶應義塾大学医学部感染制御部特任助教）
日時：平成 24 年 1 月 29 日（日） 10:00～12:00
場所：コンパルホール

研修会（2）「発達障害に関するアセスメントと心理的援助」

「WAIS-III, WISC-IV 解釈シートから見たウェクスラー検査の変化」

講師：佐藤晋治（大分大学）
日時：平成 24 年 3 月 9 日（金） 19:00～21:00
場所：大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター

（4）「大分リハビリテーション心理研究会」の開催

第15回研究会： 日時： 5月20日（金） （場所：別府リハビリテーションセンター）

第16回研究会： 日時： 8月19日（金） （場所：別府リハビリテーションセンター）

第17回研究会： 日時：10月28日（金） （場所：湯布院厚生年金病院）

テーマ：「抗うつ薬の使い方」

講師：大隈和喜（湯布院厚生年金病院 内科部長 心療内科）

第18回研究会： 日時：12月16日（金） （場所：別府リハビリテーションセンター）

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

大分県内には、地域リハビリテーション分野にかかわる臨床心理士が数名しかいないため、マンパワー不足により地域リハビリテーションが広がらないことが現状であり課題でもあります。来年度は、地域リハビリテーション分野での職場確保や活動範囲の拡大に向けて、広報活動を通して臨床心理士の啓発活動とネットワーク作りに力を入れていきたいと考えています。

今後も、高齢者の生活支援、家族支援、高次脳機能障害をもつ人への社会復帰支援などに対して臨床心理士としてどのように関わり、他職種との協働と連携を図っていくかということを考えながら地域リハビリテーションに取り組んでいきたいと思っています。